

令和3年度 第2回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

- 1 **開催日時** 令和3年8月16日（月）
午前10時～午前11時30分
- 2 **開催場所** 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
- 3 **出席者**
 - (1) 推進市民会議委員 17名
(欠席 水原委員、小柳委員)
 - (2) 事務局 健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課
伊藤課長、臼井係長、岡田係長、丹羽主事、石川主事補
 - (3) 傍聴者 0名
- 4 **会議資料**

会議次第、名簿

資料 1 第1回会議で頂いたご意見とその修正案

資料 2 (仮称) 地域協議会の手引き (案)
- 5 **会議内容**
 - 1) 会長あいさつ
 - 2) (仮称) 地域協議会の手引き
 - ① 第1回会議で頂いた意見の反映について
 - ② (仮称) 地域協議会の手引きの校正について
 - 3) その他 (次回以降の会議予定)

【事務局】

ただいまより令和3年度第2回小牧市地域協議会推進市民会議を開催させていただきます。

皆様本日はお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。

会に先立ちまして皆様にお願ひです。

現在、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、県内に「まん延防止等重点措置」が適用されており、日中を含めた外出の自粛、及び企業、自治体等に対するテレビ会議の活用が求められております。

そこで、前回に引き続きまして今回もオンラインでの会議参加をご案内させていただきました。

多くの方にオンラインからご参加いただいております。

事務局としても、円滑な議事進行に努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

それでは次第にそって進めてまいります。

会に先立ちまして市民憲章の唱和を行いたいと思います。

私が先導いたしますので、後に続いてご唱和下さい。

わたくしたち小牧市民は、小牧を

1. 健康で生きがいのある明るいまちにしましょう。
1. 感謝と思いやりのあるあたたかいまちにしましょう。
1. 緑とやすらぎのある美しいまちにしましょう。
1. 高い文化と教養のある豊かなまちにしましょう。
1. 希望と働く喜びのある活気あふれるまちにしましょう。

ありがとうございました。

それでは議事に入りたいと思います。

次第の1「会長あいさつ」としまして、加藤会長からごあいさつをお願いいたします。

【加藤会長】

おはようございます。

お盆明けということで、コロナもあり、大雨もありますが、こうやって

オンラインで会議ができていることを嬉しく思います。

オンラインでなかなか慣れない部分もあると思いますが、みんなで乗り越えていきましょう。

本日はよろしく申し上げます。

【事務局】

ありがとうございます。

ここからの進行は会長にお願いをしたいと思います。

加藤会長、よろしくお願い致します。

【加藤会長】

よろしく申し上げます。

最初に地域協議会の手引きということで、前回皆さんが出した提案を元に事務局に検討していただいて、皆さんの意見を手引きに反映させて修正した結果が、資料 1「第 1 回会議で頂いたご意見とその修正案」となっております。

修正案につきましては頂いたご意見を元に手引きで修正した箇所を示すもので、頂いたご意見は左側に、頂いたご意見にどう対応したかはページ数と一緒に右側に書いております。

では丹羽さん申し上げます。

[事務局より資料 1、資料 2 に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございました。

では、まず全体で意見があれば出していただいて、なければ次に進みたいのですがいかがでしょうか。

【安藤 和憲委員】

安藤 和憲と申します。

修正案の 11 番、手引書の 35 ページについてです。

そこにはコミュニティスクールと書いてありますが、学校運営協議会の

ことが書かれていません。

ですので、地域と学校の連携の欄はコミュニティスクールと学校運営協議会を書いていただくのが良いと思います。

コミュニティスクールは学校ごとに設立されている学校運営協議会と連携を取り合っていますので、そのことが分かるようにしていただければと思います。

【事務局】

では各小学校区の学校運営協議会と書いて、括弧をつけてコミュニティスクールというような記載にさせていただこうと思いますがよろしいでしょうか。

【安藤 和憲委員】

はい、ありがとうございます。

【加藤会長】

よろしいですかね。

他に何か意見はありますでしょうか。

大杉委員、お願いします。

【大杉委員】

31ページですね。

(2)の類似/先進事例団体の地域の高齢者の困りごと支援の欄についてです。

前回の会議では手引に「一寸奉仕こまき」の記載があったのですが、今回は記載されておられませんので、特別な理由がなければ記載していただきたいです。

一寸奉仕こまきが今年で10年目になるのですが、毎回の会議、運営委員会で各地域におたすけ隊のようなものが作られた際には、皆さんは積極的に加わってくださいというお願いをしております。

そういう事情を理解していただけるのであれば、記載していただきたいと思っております。

【加藤会長】

ありがとうございます、大杉委員。

(2)の類似/先進事例団体の中ですね。

地域の高齢者の困りごと支援の欄に一寸奉仕こまきが入っていないということですね。

【事務局】

はい、先程ご説明をさせていただきましたが、市民活動団体の多くはワクティブこまきさんのHPの方にリンクを貼らせていただいております。こちらに記載のある団体につきましては検索して見ていただくようにしております。ただ、前回の防災リーダー会さんのように特別依頼のあった場合には特出しをしております。一寸奉仕さんは特出しするように改めさせていただきますようにいたします。

【大杉委員】

はい、ありがとうございます。

【加藤会長】

ありがとうございます。

他に何かご質問、意見等がありますか。

鳥居委員、お願いします。

【鳥居委員】

防災の方でいろいろ修正していただきありがとうございます。

24ページ、(2)の類似/先進事例団体に書かれている小牧災害ボランティアネットの会についてですが、災害ボランティアと書いてあるんですが、その下にコーディネーターをつけていただくと助かります。

私たちは災害ボランティアコーディネーターとしても活動していますので、できたらコーディネーターを入れていただき、防災もやっていることを入れていただけるとありがたいかなと思います。

【加藤会長】

災害ボランティアコーディネーターという風に改めるといふのと防災活動をやっていることを「防災活動」といふような形で入れてほしいということですね。

【鳥居委員】

すみません、よろしく申し上げます。

【事務局】

記載としては、「災害ボランティアコーディネーター」がよろしいのか「災害ボランティアのコーディネート」かどちらが正しいでしょうか。

【鳥居委員】

「災害ボランティアコーディネーター」で申し上げます。

【事務局】

それでは「災害ボランティアコーディネーター」とスラッシュして「防災活動」と入れさせていただきます。

【加藤会長】

はい、ありがとうございます。

他に何かありますか。

ワクティブこまきの関さん、申し上げます。

【関委員】

ワクティブこまきの記載ありがとうございます。

市民活動センターについてですが、市民活動センターではなく市民交流テラスに変えていただきたいと思います。

また、問い合わせをする時にできれば住所も記載していただけると助かります。

ガイドブックでは団体の連絡先の記載をほぼしていませんので、ワクティブこまきの窓口の住所を記載していただけるとありがたいです。

【事務局】

訂正させていただきますとともに住所の記載をさせていただこうと思います。

すみませんでした。

【加藤会長】

はい、ありがとうございます。

後はよろしいですか。

一人だけですけど意見を言いたい方いませんか。

舟橋委員、お願いします。

【舟橋委員】

今回の修正稿にはいろいろな配慮が加えられていると思います。

その一つに QR コードが加えられているのですが、もし差し障りないのでしたら、URL も記載していただきたいと思います。

また、関係機関・団体の記載がありますが、その連絡先の所に、もしその団体が HP を開設しておられるのであれば、その URL を記載していただければと思います。

【加藤会長】

では事務局の方に聞きたいと思います。

QR コードに関連した URL の記載と団体さんの HP の記載をするというご提案ですがいかがでしょうか。

【事務局】

まず URL につきましては記載させていただこうと思います。

団体の HP につきましてはあるところとないところがあると思うのですが、なるべく記載するように調整して参りたいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。

良いですね、これだけの意見が集まるとありがたいです。

では、他になければ次に行きたいと思います。

この後グループに分かれて、1グループあたりだいたい4人ぐらいに分けて、最終的にグループごとに手引きについての最終提案を発表するという形にしたいと思います。

これが一つ目です。

二つ目は地域協議会の手引きで中身は良いんですが、名称が「地域協議会の手引き(案)」となっていて、これだとちょっと固いのではないかといった意見もありまして、もうちょっと分かりやすい、親しみやすい名称について話し合っていたきたいというものです。

だから今日のテーマの一つ目は手引きについての最終提案、もう一つが手引きの名称についてです。

一つ目の提案の方は何ページのここをこうしてほしいというように具体的にお話をしてくれると対応がしやすいです。

一つ目は最終提案、二つ目は手引きの名称、それについて20分間話し合っ、後でみんなに発表してもらおうと思っています。

お一人が進行係で進行していただいて、もう一人が記録係で記録をとっていただくと進行のために良いと思います。

スマホ以外の方は画面に顔ぶれが表示されると思います。スピーカービューだと話している人しかアップにならないので、できるだけ画面の「表示」をギャラリービューに、マイクをオンにしてもらえばいいと思います。

では、それぞれのグループに別れて、20分後に戻ってくるので、それまでそれぞれのグループごとに別れて話し合いをして下さい。

20分後にお会いしましょう。

[20分間 意見交換]

【加藤会長】

全員戻ってきてらっしゃいますかね。

もうちょっと話したいところで終わったグループもあったんじゃないかと思います。

議題は2つありましたが、両方話せなかった場合は話せた所までで構わ

ないですけど、一つ目は手引きへの提案、もう一つは手引きの名称、みんなにもうちょっと分かりやすく分かち合えるような、親しみやすいような名前があったらという提案でした。

では順番に行きたいんですけど、皆さん部屋番号が付いていまして、ルーム1は関委員、大杉委員、落合委員のお三方でお話をされたと思います。

発表はどなたがやっていただけますか。

では大杉委員、よろしくお願いします。

【大杉委員】

ルーム1で問題のいろいろなお話をさせていただきました。

1番目、手引の内容の方ですね。

まず、文章入れていただくかどうかは別としても、2ページのKJ法で、これまでは市の担当の方が見えてファシリテートされるケースもあったと思います。

これから実施される協議会で「KJ法って何」、「ファシリテーターやるにしてもわたしができるだろうか」、「ここに書いてあるけれども自分は理解を十分にできるだろうか」という懸念があるかもしれない。

従って、このKJ法のファシリテートを学ぶ機会を用意したらいかがかなと思います。

それと、これは私の感想ですが、地域協議会の前から、地域にはいろいろなボランティア団体に所属して、活躍していらっしゃる方がいます。

何となく、あまり地域協議会と以前からあるボランティア団体との活動が融合されてない。

従って、地域協議会の方へボランティア団体の方がそれぞれにテーマを持ち込むことができるような体制づくりがされるといいと思う。

これが二点目です。

もう一つは親しみやすい名称って何だろうなという流れの中で、たまたま第3次福祉計画で関わった経験で一番気になるキーワードは「あなたが主演」なんですね。

だから、「あなたが主演の地域協議会の手引き」とそういうもので少し、地域協議会だけの人を使う手引きではなくて、住民が使える手引き

になるように何か工夫が必要ではないかと思います。

もう一つあったと思いますが、ちょっと思い浮かびませんので、関さんお願いします。

【関委員】

手引書を作って実際に活動をされていると、各地域協議会でも課題やメンバーが違うので、手引書が全てヒットするわけではないと思うので、例えばここをこうした方がいいというような細かい意見を拾い上げて、内容に落とし込めるような実際に活動にあてたときのフィードバックがきめ細かにできる仕組みがあるといいのかなという風に感じました。

【加藤会長】

地域の声を聞いて、改訂していけるような感じですかね。

ありがとうございます。

以上で大丈夫ですかね。

【関委員】

はい、ありがとうございます。

【加藤会長】

ありがとうございます。

素晴らしいですね。

20分間とは思えない。

では、一つずつルームから発表していただいて、後でまとめて事務局と全体の話をしたしたいと思います。

ルーム2は水野委員、新家委員、舟橋委員、伊藤委員です。

発表はどなたから。

【伊藤委員】

先程舟橋委員から全体にもありましたけど、各団体の URL を載せていただくということと、加えて各団体がもしサイトをお持ちでないなら、持っただけのように働きかけていくということもあっていいんじゃないか

という話でした。

それから20ページになりますが、地域協議会への期待のページにここでは5つの課題になっていますが、先程の修正案の最後にあった環境問題を付け加えていただいて、実際に既に草刈りや清掃といった活動をされているので、それを四角の中に入れる形で書いていただけると良いのではないかとということが一つ。

その環境問題に絡めていうと、すでに各小学校区レベルで地球温暖化対策のプロジェクトが始まっているようです。

光ヶ丘小だとか小牧小だったりなんですけど、そこと連携した形での温暖化対策も将来的に入ってくるんじゃないのかという話もありました。

それと絡めて、小牧市が5月にSDGs未来都市になったそうで、そのSDGsに出てくる17のゴールがあるんですけど、それとここに出てくる5つの課題プラス今の環境を入れて6つの課題との関連を示してもいいのかなというところで時間切れになってしまいました。

【加藤会長】

環境という新たな柱のご提案ということですね。

ありがとうございます。

ではルーム3に行きます。

ルーム3は山田委員、鳥居委員、平坂委員だったと思いますがどなたから発表かな。

山田委員、お願いします。

【山田委員】

一つは多文化共生の充実ということで、食やスポーツ、そういったことをさらにやっていきたいという話がありました。

社協のボランティアセンターの中でもですね、例えば「ラテンこどもの会」、「ブラジルの母語教室」だとか、「ラテン人ママの台所」、「ポルトガル語やスペイン語で日本料理を開催」だとかの活動があるものですから、ぜひそういったボランティアさんも小牧市内にたくさん見えるということを紹介させていただきたいなと思います。

【加藤会長】

それはこのページでいうと37、38ページ辺りの。

【山田委員】

最後の所でいいんですけども、ワクティブこまきさんと同列で小牧社協もHPだとか電話番号だとか示していただけるとそういったことでご協力できるんじゃないかと思います。

それからもう一点はコロナの収束が見えない中、ここにあるのはコロナが終わったらという感じのことが書いてあるんですけど、やはりWithコロナで活動していく状況だと思いますので、そういったことも考えながら、こういった手引きのところに考慮していただくと良いなと思います。

実は先週、鳥居委員と会議で防災訓練のお話をさせていただいたんですが、そこではやはりコロナありきで専門家の意見を聞くだとか、避難所を設置するためにはこういうことに注意するだとか、そういった内容になりました。

災害というのは待たなしで来ますので、そういったことも十分に検討していただき、ぜひ訓練の中でもコロナに対応した訓練をやっていただくと本番に強いと思います。

それから手引きの名前なんですけど、中に非常に横文字が多いので、「地域協議会の手引き」のままで、みんなが分かるのが良いんじゃないかと思います。

最初のところにみんなが握手してるだとか、繋がったようなイラストだとか、何か頑張れるような温かいものを入れていただくと見やすいんじゃないかなと思います。

もし何か他にありましたらお願いします。私からは以上です。

【加藤会長】

ありがとうございます。

では、補足があれば。

鳥居さんからお願いします。

【鳥居委員】

今ほとんど山田さんに言っていただいたことで良いんですけど、プラスいろんな不測の事態が起きたときに手引書が修正できるようなものにするということで地域協議会推進市民会議の場で、年に一回改訂する機会を設けていただけるとありがたいかなと思います。

以上です。

【加藤会長】

はい、ありがとうございます。

平坂委員は何かありますか。

【平坂委員】

私の方は地域協議会の方でふれあい農園っていうのをやっているのですが、南地区の方では子ども食堂が順調に活躍していらっしゃるということですので、その農園で収穫したものを子ども食堂であったり、地域の人に食べていただくようなものができたらいいかなというのを今提案中です。

【加藤会長】

特に手引きの何ページがどうこうというようなものではないと。

【平坂委員】

ないです。

【加藤会長】

分かりました、ありがとうございます。

【鳥居委員】

もう一点良いでしょうか。

さっき言ったワクティブこまきと、ボランティアセンターのことについて、それぞれ本文の最後に参考資料としてついているんですけど、これを一括で最後のページにまとめられて、詳しく知るために市民団体ならワクティブこまき、ボランティアならボランティアセンターというように一括

の参考資料として出されたらどうかと思っています。

【加藤会長】

はい、ありがとうございます。

ルーム4に行きますが、ルーム4は鈴木委員、稲垣委員、吉田委員の3人でどなたから発表していただきますでしょうか。

吉田委員、お願いします。

【吉田委員】

3人で話しまして、内容については事務方の皆さんが今までの会議の内容をまとめていただいて、手引きを作って下さったことには本当に敬意を表しているわけでございます。

特に細かい点については、先程の修正に関しては何ら問題ないなと思っております。

ネーミングに関してはいろいろ3人で話したんですが、現在コロナによって活動が非常に困難になってきていることから、活動が軌道に乗って地域協議会の名前が定着してから、しばらくしたらネーミングを変えたらどうかということこのままでも良いんじゃないかということも3人で話し合いました。

だいたい区長さんにしろこれから若い人が参加してくださればいいんですけど、この地域協議会に関わるのは我々のような第一線を退いた人たちですので、やはりこのA4サイズのもので発行していただければ良いかなと思います。

そのような話で時間が来てしまったものですから、そこで終わっております。

【加藤会長】

吉田委員、ありがとうございます。

すごく上手にお話をさせていただいてよく伝わってきました。

では最後、ルーム5、ふらっとみなみでお三方集まってお二人の安藤委員、梅田委員でお話をされていたと思うんですが、どなたから発表していただけますか。

安藤さん、お願いします。

【安藤 和憲委員】

22ページお願いします。

防災のところですが、防災のくくりがいわゆる地震とか風水害とかに焦点が当てられている。

例えば AED とか人命救助的な防災の視点はないだろうか。

こういう視点で書き込んでおく必要がないでしょうかという提案がありました。

それから27ページ、実はこちらに春日寺の地区の防犯パトロール隊を取りまとめている方が見えるんですが、この(1)の行政機関の「防犯や交通安全に関すること」、そこにもパトロール隊が関わってくると思うんですが、学校との連携を考えた時に右側の所に学校がどこにも出てこない。

だからここに学校教育課、もしくは学校内に設置されているコミュニティスクールまたは学校運営協議会、そことの連携が一番大事と思い、その部分の表記をしていただきたいという意見がありました。

すみません、タイトルについては時間不足で話し合えませんでした。夢のある表現、これから頑張って活動していきたいなというような、何か育てるような、地域が繋がって輪が広がるような、そういう表現が良いなと個人的には思います。

すみません、具体的な提案がなく。

【加藤会長】

とんでもないです。

素晴らしい説明でした。

ありがとうございます。

ということで一応わずか20分だけど、それぞれのルームからとってもいいご提案が出たかなと思うんですけど、最後に伊藤委員から講評をしていただこうと思いますけど、事務局の方で何かお返事できるもの、お預かりして最終的には是非を精査されると思うんですけど、今答えられる範囲でフィードバックを得られると、うれしいかなと思います。

丹羽さん、お願いします。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございました。

いくつかお答えさせていただこうと思います。

まず、皆さんから改訂をどうしていくかというご意見をいただいております。

これは次回以降ご協議いただく予定の内容の一部ではございますが、冊子として出しますと、修正の際に印刷し直しが必要になりますので、データとしてインターネット上で公表し、地域協議会をはじめ多くの方に見ていただきながら更新していくというようなやり方もありますので、またその辺りを次回の会議で皆さんにご意見をいただければと思っております。

また、各種団体の URL は記載させていただくようにしたいと思います。

環境につきまして、ルーム 2 の皆さんからご意見いただきましたので、記載していく方向で進めていきたいと思いますが、昨年度この冊子を作る前に行いましたグループワークの際に 5 つの課題についてご議論いただきましたが、環境につきましてはその記載内容について深掘りした議論ができていないことから、ぜひルーム 2 の皆さんと一緒にキャッチボールをしながら記載内容を深めていきたいなと思うんですがいかがでしょうか。

SDGs、こちら各ページに関連する SDGs のロゴを記載していきたいと思っております。

ルーム 3 の皆さんからいただきました多文化共生の関係団体や社会福祉協議会さんの URL につきましても同じように記載していきたいと思っております。

それから With コロナにおけるヒントをとということでご意見がありましたが、こちら「With コロナにおけるヒント」というような小見出しで各ページに注釈をつけていけないか検討いたします。

タイトルにつきましては皆さんからいただいております「あなたが主役の地域協議会の手引き」や「地域が繋がる、輪になる、夢のある、育つような」といったことを踏まえつつ、そのままの方がいいというご意見もありましたので、サブタイトル等も使いながら、次回お示しできればと思っております。

最後、防犯に関しましては学校教育課を追記しておこうと思います。
以上です。

【加藤会長】

ありがとうございます。

細かいところは、特に環境の議論は今のままだと他の分野より薄いと思うので、そこはちょっと手伝って、一緒に知恵を出して、事務局と一緒に作り上げてみてください。

それからいろんな改訂の仕方とか、次の会でより良い方法をみんなでまた話せばいいと思いますが、伊藤委員の方から、今日全体を通して感じられたこととかちょっとアドバイスをいただいて終わりにしたいと思うので、一際大きな拍手を伊藤委員にお願いします。

【伊藤委員】

大分出来てきたなと思いながら読ませていただいたんですけど、各グループの方から様々なご意見をいただいて、1つ課題はさっき大杉さんが仰ったように先行してやっているボランティアの人たちと地域協議会との連携というか、融合というのか、既に個々に活躍されておられるボランティアさんの活動を地域協議会が受け入れることで、さらに地域協議会がそこを活性化させていくような所があると思うんですけど、それが見えにくいのかなという所があります。

その課題をクリアする時に、最後に団体一覧を載せていくという話もありましたし、一方で各課題に寄せてここでコミットしていますということを示す必要もあり、それがもしPDF等で公表するのであれば、2箇所に記載してもいいのかなと思って聞いていました。

やはり、必要な箇所しか見られませんし、一寸奉仕こまきのように先行で活躍されているところに地域協議会の方が学んでいけないところや、そこで活躍されている活力を地域協議会で受け入れていくことも大事になってくるので、そこはちょっと必要かなと思っています。

また、タイトルに関わる所でみんなが地域づくりに関わってもらえるようなものであってほしいので、さっき仰ったように輪が広がるというようなもので考える時と、みんなが暮らしている地域という意味でいうと、最

近学校の方面で「みんなの学校」というのが流行っているので、「みんなの」という言葉を入れてもいいのかなと思いつつ読んでいました。

これのどっちがサブタイトルになるか分からないんですけど、分かりやすいから手引きは手引きでいいと思うんです。

だけど、それを固く「地域協議会の手引き」とすると、すごく固いから、「みんなで地域づくり」と言っていて、「地域協議会の手引き」というようにするとか、どっちが副題でも良いんですけど、とっかかりやすいタイトルは付けても良いのかなと思うところがありました。

よくここまで作りこんできたなと思っているので、皆さんの今回の意見もいただいて、さらにより有用なものにすることと、仰っていたように常に改訂していく作業はしていったらいいと思いますし、勿論話し合っていて作っているもので、自由に変えることはできないかもしれませんが、見直しの作業は次回話し合えるということなのでそこに期待をして、少なくとも今回は先行的にやっておられる方たちの活力を取り込む必要があるということが今回の課題になったと思うので、そこをうまく表現していただければいいと思います。

あと、個人的にはいろいろあるので、それは事務局にダイレクトでさせていただこうと思っていますので、後で話をさせていただこうと思います。

以上です。

【加藤会長】

素晴らしいです。

ありがとうございます。

というわけであつという間に終わりの時間なんですけど、とても良いお話が聞けたなと思っています。

各ルームを回らせてもらって、「コロナだけ活動を止めないようにしたい」、「コロナ後の理想の手引きじゃない」というのも今すぐ使えるという意味でとても良い意見だと思いました。

そういう意味ではワクティブこまきさんがこの間送っていただいた「ゼロからはじめるオンライン」を他所の町で紹介したら、「めちゃくちゃ良いですね。」、「ぜひうちでもこういうのを作りたい。」というような反応で

した。

多分やりたいけどどうしていいか分からない、活動止まっちゃってるけど本当は続けたいとみんな思っていると思うので、今作るのであればそのことに触れないというのは逆に不自然だと思います。

ただ、フローとストックという考え方があって、ストックとしてスタンダードに古びないベーシックな部分と時代に応じて更新していける部分と両方が合わさって初めて実のあるものになっていくと思うので、次回フローの部分はフローの部分で考えていくんですけど、ベーシックな変わらない部分も併せてしっかり書いていかないといけないのかなと思いました。

あと、大杉委員が言われた「KJ法がいきなり2ページ目って分かりにくくないですか。」という意見に確かにと思いました。

なので、ひょっとしたら地域協議会を立ち上げる前に地域にいらっしゃる元々ががんばっていらっしゃる団体さんとお話をするとか地域のタレントと交流をしながら立ち上げていくというステップ0と言うか、ステップ1に入る前の記載と、最後の改訂の話はアフターステップですが、そういうのが前と後を合わせて考えることで、この手引き自体がもっと活きたものになるのかなと思います。

でもより良くなってきているので、それをまた一緒に次回以降お話していけると良いなと思っています。

今日は本当にオンラインで慣れない中大変だったと思いますけど、お互いに拍手を送り合って終わりたいと思います。

ありがとうございました。

では事務局に進行をお戻しして、締めていただこうと思います。

【事務局】

加藤会長、どうもありがとうございました。

委員の皆様方にも本当に活発なご議論をいただきまして、多くの貴重なご意見をいただきました。

ありがとうございました。

この手引きの完成が本当に楽しみにしております。

今後も Web 会議などを積極的に活用しながら、コロナ禍においても効果的な議論ができるように工夫して参ります。

こちらにも本当に不慣れなんですけど、皆さんご協力のほどよろしく願いいたします。

次の令和3年度第3回地域協議会推進市民会議につきましては11月頃を予定しております。

こちらにつきましてもオンラインで会議を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

では、これで第2回地域協議会推進市民会議を閉会いたします。

本当にどうも皆様お疲れ様でした。

ありがとうございました。